

賛助会員 2018・12月～2019・7月現在

| 賛助会員名 | 賛助 | 賛助会員名 | 賛助 | 賛助会員名 | 賛助 | 賛助会員名 | 賛助 |
|--------|------|----------|------|-----------------|----|--------|-----|
| 水戸SE様 | 法人2口 | 平井弥生様 | 1口 | 成島弘様 | 8口 | 飯田藤治様 | 2口 |
| 佐野敬次様 | 2口 | 岡村道枝様 | 10口 | 池田和彦様 ヨンドー楽器 | 1口 | 宮崎照子様 | 2口 |
| 宮崎正様 | 2口 | 福島保様 | 1口 | 森山喜代子様 | 1口 | 森山英隆様 | 1口 |
| 高橋昭五様 | 4口 | サンヨーホーム様 | 法人2口 | 森川清様 | 2口 | 稻村二一様 | 2口 |
| 伊藤楽器様 | 法人1口 | 柿本譲様 | 1口 | 園山義明様 | 1口 | 杉山精展様 | 2口 |
| 三浦はるか様 | 1口 | 関口雅子様 | 1口 | 匿名希望 | 2口 | 加藤ゆき様 | 2口 |
| 小泉安治様 | 1口 | 川添保利様 | 1口 | 森一様 | 1口 | ◇笹森楽譜様 | 12口 |
| 山川幸子様 | 1口 | 中島良能様 | 1口 | 横田恵美子様 | 1口 | 小川好子様 | 1口 |
| 佐藤恭子様 | 1口 | 丸林実千代様 | 2口 | 牧野英一様 | 2口 | 岩渕純子様 | 1口 |
| 渡邊佳子様 | 1口 | 柳原健児様 | 1口 | 上澤恭子様 | 1口 | 宮本恵美子様 | 1口 |
| 清水玲子様 | 2口 | 青木正博様 | 1口 | 小澤均様 | 1口 | 匿名希望 | 2口 |
| 椎名祐美子様 | 1口 | 亀高証様 | 1口 | 中村久子様 | 1口 | 谷岡憲隆様 | 1口 |

皆さま、ご協力ありがとうございます。(◇)笹森先生の遺言により、先生の編曲物を特価で各団に配布しています。

そのお金をご遺族のご容謝のもと、賛助会に寄贈するものです。



みんなの広場

ドンドン投稿ください。

一言つぶやきも歓迎♪

投稿1『音楽のルール』

「理論なんてありません。聴くだけで十分なんです。快い事が規則です。」それまでの音楽理論に囚われない、独自の作曲法で印象派時代を切り開いたドビュッシーの言葉です。皆さん練習は好きですか？？1人でコツコツやる練習は好きではない方が多いかも知れません。楽器を思うように演奏出来るようになるには、相当な時間がかかります。しかしどんな時でも忘れてはいけないのは、楽器は表現する為の道具であり、演奏は手段であるという事。1つの音を出す時に、どう言う音を出そうか考えてみて下さい。

楽譜には強弱やアクセント、スラーなど色々な表現記号が書かれています。書いてある通りに弾いてみて、ご自身の音を聴いてどう感じますか？優しい音？悲しい音？嬉しい音？風のような音？色はどんな色？温度は？湿度は？匂いは？紫陽花の色のグラデーションが目に浮かんだり、冬の高い空を感じたり、愛犬が走り回っているところを思い浮かべたり、大切な人の別れを思い出したり、なんだか言葉にできない胸のざわめきを感じたり…。向き合っている作品や、その時の自分の心境にもよりますが、人それぞれ感じるものがあるはずです。楽譜のたくさんの表現記号に、初めはしがらみだらけの世界だなあと窮屈を感じるかも知れませんが、その様に弾いてみてどう感じるかは自由なのです。楽譜と言う二次元から、時空を超えて無限の世界を体感することができます。そしてその無限の世界は、作品を通して自分という人間がどんなであるか、教えてくれる鏡でもあります。また、個々の人柄が出来ます。沢山の人生経験を積んでいらっしゃるシニアアンサンブルの皆さんには、きっと奥深い音楽をなさる事でしょう。

演奏会ではその音楽が聴衆の胸に届いて、ある意味スピリチュアルとも言える深いコミュニケーションを取ることになります。とっても素晴らしい事をなさっているので、一音一音大切に、思いを込めて演奏して下さい。必ず伝わります。練習は時に忍耐が必要かも知れませんが、全てはドビュッシーの言う様に「快い事」が目標です。いつでもご自身に快いかどうか問い合わせてみて下さい。感情は嘘をつきません。これは音楽だけでなく、生きていく上でどんな場面でも大切な事だと思います。是非、この目標を胸にアンサンブルを楽しんで下さいね！ ピアノ講師・ピアニスト 三浦はるか

編集後記

11月3日は第15回全国大会が開催されます。私事ですが思ひだされますのは、神奈川県立音楽堂で開催された第4回横浜大会です。楽団発足当初で5名足らずの横須賀でしたが、指導者が一緒にこともあり、横浜のメンバーとして演奏に2名、受付として友人にも依頼し数名で参加しました。その時の体験が忘れられず「是非、横須賀で！」開催を挙手いたしました。

楽団発足して3年後のことでした。今のように連盟のサポートも無く、開催地のみでの計画でした。連盟の諸先輩方や当楽団員達の心配をよそに、計画を立て進めていく中で楽団を辞めて行く団員も数名いましたが、横を向いた団員達が一緒に歩み始めてくれたのです。第9回横須賀大会は実現し、私の貴重な体験の一つとなりました。

今回は交歓演奏会の色彩を強め他楽団との交流を暖め合うようにとの事です。出演者以外の参加を願っています。新規楽団も増え34団体になり、活力にあふれております。投稿して頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。 編集委員長・清水玲子